

年度 2007 学期 後期	曜日・校時 火2 / 木2 / 木3	必修選択	必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	韓国語 KOREAN			
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室		
対象学生(クラス等) 全学部(時間割参照)	科目分類 外国語科目(韓国語)			
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 劉卿美(ゆう・きょんみ) / Eメールアドレス: you-kiss@net.nagasaki-u.ac.jp/ 研究室: 全学教育事務室 2階 / オフィスアワー: 月~木、昼休み				
担当教員(オムニバス科目等)				
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 授業のねらい: 韓国語 ~ で学んだ韓国語の能力にさらに磨きをかけます。韓国語文の基本しくみ 語幹 + 表現形 + 語尾 に基づきながら、日常生活に使う表現形をさらに増やし、より豊かで自然な表現ができるようにしましょう。 授業方法: 毎回の授業では授業の目標を達成するために、必要不可欠な文法事項を覚えていきます。授業では毎回課題が出されます。授業で習った文法事項を確実に身につけるために、出された課題をもって復習を行ってください。授業中はできるだけ多く口頭による発音練習を行います。テキストに付いている CD を通してさらに発音練習を行ってください。 授業到達目標: 日常生活に使う表現形をさらに増やし、より豊かで自然な表現ができるようにしましょう。				
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要) 毎回の授業ではまず、韓国ドラマのスキットの聞き取りをします。プリントで内容を確認。毎回2つずつ新しい表現をピックアップし、練習します。スキットの発音を練習。最後にもう一度聞き取りを行い、どれくらい聞き取れるようになったかを確認します。中級テキストの会話文(第1課~第7課)の練習。1課につき、2回の授業(1回目の授業で発音の確認と練習 CD を通して自学 2回目の授業で指名し、ロールプレイ)。最後に課題の確認と回収をします。 第1回(10/2)(10/4) おさらい 第2回(10/9)(10/11) ドラマ(1) 第1課 第3回(10/16)(10/18) ドラマ(2) 第4回(10/23)(10/25) ドラマ(3) 第2課 第5回(10/30)(11/1) ドラマ(4) 第6回(11/6)(11/8) 韓国事情 第3課 第7回(11/13)(11/15) ドラマ(5) 第8回(11/20)(11/29) ドラマ(6) 第4課 第9回(11/27)(12/6) ドラマ(7) 第10回(12/4)(12/13) 韓国事情 第5課 第11回(12/11)(12/20) ドラマ(8) 第12回(12/18)(1/10) ドラマ(9) 第6課 第13回(1/8)(1/17) ドラマ(10) 第14回(1/15)(1/24) ドラマ(11) 第7課 第15回(2/4)(2/7) 定期試験				
キーワード				
教科書・教材・参考書	『基礎から学ぶ韓国語講座・中級編』(木内明・国書刊行会)*韓国語 と で使ったテキスト・プリントは、韓国語 を通して使います。またプリントは紛失したり混ざったりしないよう、ついに整理することを心がけましょう。			
成績評価の方法・基準等	課題提出 20% (各課題につき4段階評価をします。遅れて提出された分は減点されます)、単語テスト 10% (10点満点、3回)、授業への取り組み方(授業への参加状況、授業態度など) 10%、定期試験 60%で、総合的に評価します。			
受講要件(履修条件)				
本科目の位置づけ / 学習・教育目標				
備考(準備学習等)				